



市議会だより



第69回小金井の四季の観光写真コンクール 推薦「晩秋の輝き」高橋 美奈子 写真提供:小金井市観光まちおこし協会

令和4年度一般会計決算 6年連続で不認定

庁舎等建設再開予算 債務負担行為の補正予算を可決

第3回定例会の概要

令和5年第3回定例会(宮下誠議長)は、8月31日に開会し、10月5日に閉会しました。

令和4年度歳入歳出決算について

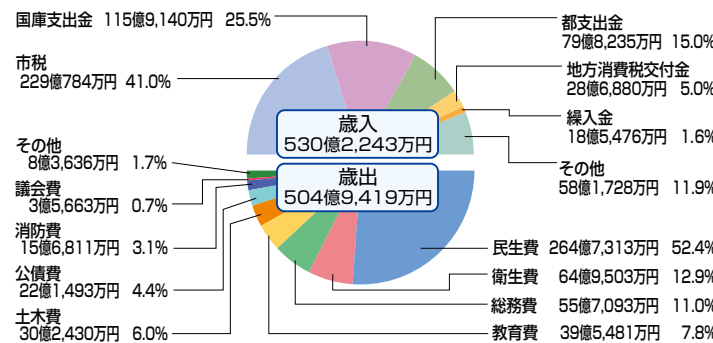
一般会計の歳入総額は530億2千243万1千円(前年度対比2.4%減)、3つの特別会計(国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計)を含めると756億4千893万7千円となりました。また、一般会計の歳出総額は504億9千418万6千円(前年度対比1.1%減)、特別会計を含めると727億7千614万8千円となりました。また、下水道事業会計の収益的収入は、20億7千107万円、収益的支出は19億4千68万8千円、資本的収入は、65万9千円、資本的支出は、3億9千651万2千円となりました。この決算について、8月31日の本会議において議長を除いた22人で構成する決算特別委員会(鈴木成夫委員長)に付託し、9月27日から10月3日の5日間、約33時間にわたり審査を行いました。10月5日の本会議において、一般会計については、起立採決の結果、起立少数により不認定としました。このことにより、平成29年度一般会計歳入歳出決算以降、6年連続の不認定となりました。

令和5年度一般会計補正予算(第7回)を可決

本補正予算の主な内容は、歳入歳出それぞれ3千178万5千円減額し、補正後の歳入歳出予算総額を517億9千138万円とするもので、新庁舎(仮称)新福祉会館建設実施設計委託料について、この減額分の全額を翌年度以降に債務を負担するものとして、2年間の債務負担行為を設定するためのものです。本件は、令和5年第2回定例会において、市長から提案された新庁舎(仮称)新福祉会館建設を再開するための実施設計委託料等の補正予算に対し、議員提案による設計検証を行うための経費を追加する修正案の可決、

10月5日の本会議では、本補正予算に対して、組替え動議が提出されましたが、これを否決した後、原案を起立採決の結果、起立多数により可決しました。

一般会計歳入歳出決算の内訳



※円グラフの決算額は千円の位を四捨五入しているため、構成率の合計が100%にならない場合があります。

令和5年第3回定例会日誌

日	内容
31日	本会議(議案の審議・委員会付託・採決、陳情の採決)
1日	本会議(議案の審議・委員会付託)
5日	本会議(一般質問)
6日	本会議(一般質問)
7日	本会議(一般質問)
8日	本会議(一般質問、議員提出議案の審議・委員会付託、陳情の委員会付託)
11日	厚生文教委員会
12日	建設環境委員会
13日	総務企画委員会
14日	予算特別委員会
15日	議会運営委員会
19日	庁舎等建設及び公共施設マネジメント推進調査特別委員会
20日	行財政改革推進調査特別委員会
21日	議会運営委員会
25日	厚生文教委員会
27日	総務企画委員会
28日	本会議(委員会付託案件の採決、議案の審議・委員会付託・採決、議員提出議案の審議・採決)
29日	決算特別委員会
2日	決算特別委員会
3日	決算特別委員会
5日	本会議(委員会付託案件の採決、議員提出議案の審議・採決、陳情の委員会付託)



審議した主な議案

令和4年度一般会計歳入歳出決算の認定について

決算の概要は1面に掲載しています。

賛成討論 (要旨)

沖浦あつし(みらい)

西岡前市長在任7年間の行政効果は「子育て世帯に選ばれるまちになった」こと。この間の就学前児童575名増は多摩26市2位となる増加状況で、過去発生率ワーストであった本市の待機児童を解消した実績は顕著。この間、児童福祉費を約倍増し、人口7千人増、単年度市税歳入21億円増、基金残高71億円増、市債残高約100億円減は、財政健全化への客観的事実。結果、都統計平均年齢で多摩26市中、2番目に若い市となったことを含め、総合的に評価し賛成する。

反対討論 (要旨)

五十嵐京子(自民党・信頼)

西岡前市長辞職のきっかけとなった保育園の件、短期間に多くの民間保育園の設置で現在空きが出て、さらに補助金の不正受給の問題が起きているなど計画性を欠く施策であった。庁舎等建設も途中で突然中断した。公民館や集会所の設備の不具合が続くことを何度か指摘したが、修繕に時間がかかりすぎる。令和4年度はコンプライアンスに関していかにミスがあった。数字上は健全財政とはいえず、行政運営上の問題が大きかったことが反対の理由である。

賛成討論 (要旨)

古畑俊男(子どもの権利)

前市長による保育園廃止に係る専決処分執行により、現在二つの保育園が、段階的縮小に向けてながらも存続している環境の中で、利用する子どもや保護者そして、そのような職場環境で職務を全うされている関係職員の想いを鑑みれば、今回の決算は認められるものではない。しかし、近年多岐に渡る様々な事務に向かう職員の勤務を考えると、会派内でも意見が割れたところではあるが、決算全体を否定することはなじまないと判断し、賛成する。

反対討論 (要旨)

片山かおる(子どもの権利)

西岡前市長の専決処分による市立保育園廃園は違法性の疑いがあり議会は不承認とした。前市長は辞職したが、本来は不承認の事実を受け専決処分を取り消すべきだった。白井市長の公約は撤回。廃園廃止条例が否決されても特別再議も監査要求も廃園廃止条例の出直しもできる。廃園方針の見直しはすぐにも取りかかるべきだが未だに着手していないのはなぜなのか。数々の事務的ミスが発覚したときに議会への報告がなかったことも重大な問題である。

反対討論 (要旨)

たゆ久貴(日本共産党)

様々な市民生活支援が盛り込まれている点は評価するが、以下の主な点で問題があり不認定とする。①物価高騰やコロナの影響が続き市民生活が大変な中において、市民生活支援が不十分であること。繰越金25億円を活用すれば日本共産党が提案した代替え動議の内容なども実現

できる。②公立保育園の廃園が専決処分で行われたこと。③庁舎等建設が市民や議会の声を無視して進められてきたこと。④ごみ減量に反する政治姿勢であること。

反対討論 (要旨)

渡辺ふき子(公明党)

決算年度、我が会派はコロナ禍や原油・物価高騰対策として二度の緊急要望を提出し、市民や事業者等への支援策を要望。国や都の補助金を活用し多くを

反対討論 (要旨)

斎藤康夫(参政党)

反対の理由は、予算執行上の問題や会計処理の不適切の有無ではない。決算年度中に執行された新型コロナウイルスワクチンの接種が市民にとって適切であったか疑問が残るからである。令和3年、4年の死亡者数はコロナ死を除いて令和2年比約14万人増えている。その原因は究明されていない。ワクチン接種数と超過死亡の増減が一致している。ワクチン接種すると死亡者が増えることを否定できない。市民の生命を守ることができない本決算に反対する。

反対討論 (要旨)

安田けいこ(生活者ネット)

子どもオンブズパーソン設置やプラスチック削減の取組等評価できる点もあるが、以下の理由で不認定と判断する。第一は、

長年地域に根付き保育の実践を重ねてきた公立保育園の廃園が、前市長により専決処分という前代未聞の暴挙により決定されたことである。未だ公立園の役割や在り方は定義されず、現市長の公約は果たされていない。第二は、新庁舎建設予算が提案されず10回開催した協議会は結論を出せずに終了し、結果的にコスト増につながったことである。

反対討論 (要旨)

坂井えつ子(緑・つながる)

新庁舎建設は、議会の議決を経ながら、目指しているスケジュールどおりに進めることを求める。公立保育園に関して、前市長による「廃園条例」の専決処分があり、白井市長が提案した条例も2本否決した。新たなプロセスを考え示すことを求める。優先整備2路線の中止を東京都に求める要望書は未提出で、調整中の答弁が続いた。要望書提出及び説明責任を果たすことを求める。「学べない組織に未来はない」という白井市長の発言に期待する。

反対討論 (要旨)

清水がく(街の仲間たち)

決算年度は、新型コロナウイルスワクチン接種事業、地域応援券発行、学校給食費補助事業、子ども・子育て応援事業など困っている市民生活に対し、国の臨時交付金を適時適切に活用し事業を行ったことは評価する。一方で、所管委員会で継続審査となり残念ながら議決は行えなかったものの専決処分が行われたこと、職務代理はいたが、おおよそ1か月半市長不在の期間が生じ、市政が停滞してしまっことは、遺憾と言わざるを得なく、不認定とする理由である。

令和5年度一般会計補正予算(第7回)

予算の概要は1面に掲載しています。

賛成討論 (要旨)

水上市洋志(日本共産党)

第一に、新庁舎等建設について、コストダウンが見込めない現設計のまま進めることは認められない。第二に、庁舎等建設に関する協議会で提案された「見直し案」は、建設費で23億円、ライフサイクルコストは、70年間で17億円ものコストダウンがで

反対討論 (要旨)

渡辺大三(子どもの権利)

検証により、「現設計」を前提とした場合、抜本的なコストダウンは不可能、手の施しようがないことが判明した。公共施設整備保全基金の残高は多摩26市中ワースト1位という惨憺たる有様である。庁舎等建設は考え得るすべての方策を尽くしてコストダウンを図る必要がある。「現設計」から「見直し案」への転換は、市政史上屈指の行財政改革、市民サービスの財源生み出しになる。「庁舎だけ栄えて、民減ぶ」ような事業は不適切だ。

賛成討論 (要旨)

小林正樹(公明党)

6月に示された再開予算は、修正可決され、コストダウンに

関する検証が実施された。9月に結果が報告され、残念ながら最も効果が期待されていた案について、十分な財政効果が得られないことがわかった。それらの結果を受け止め、我が会派は「現設計を基に事業を速やかに再開するべき」と判断するに至った。10月から始まる市民説明会においては、財政見通しを含め、市民に丁寧に説明を行い、今後事業が滞ることがないようお願ひ申し上げる。

賛成討論 (要旨)

水谷たかこ(こがおも)

本案は、6月に全議員の賛成で可決した実施設計予算を、会計処理のため、債務負担行為に変更するだけの内容で、可決するのが当然である。4会派の提案で実施された検証作業では、大幅にコストダウンできる項目がないとわかり、庁舎と福祉会館の同時竣工と広場の再検討を設計に反映するという市の判断は合理的で評価できる。我々議員が現在の任期中に庁舎等建設に結論を出し、まちづくりを前に進めることは議会としての検証の成果であり、責任だ。

賛成討論 (要旨)

高木章成(子どもの権利)

本意見書は、女性が被害者となることを想定しているが、差別を助長するものとならないか危惧する。トランスジェンダーやレズビアンなどの性的マイノリティの当事者や研究者に意見を聞いたが、トイレというプライベートかつセンシティブな問題について対立的に捉えることは差別を強く危惧する意見があった。「私たち抜きに私たちのことを決めないで」とするのが当事者人権の基本的な考え方であることを申し述べて私の反対討論とする。

学校給食費の補助金の交付に関する条例

9月8日の本会議において、厚生文教委員会(吹春やすたか委員長)に付託し、9月11日の委員会審査を行いました。

本件は、現下の経済政策の下、小金井市立学校における保護者の経済的負担を軽減し、もって子育て支援を拡充するものです。9月25日の本会議では、起立採決の結果、起立少数により否決しました。

賛成討論 (要旨)

森戸よう子(日本共産党)

すべての子どもたちに食の権利を保障し、子どもの成長を図ることが求められている。また物価高騰で子育て世代が厳しい状況に置かれており、経済的負担を軽減することは子育て支援につながる。文部科学省は、給食費の全額補助は自治体の判断と国会で答弁しており、法律上の問題は無い。すでに全国400を超える自治体、都内22区2市5町村で実施している。昨年度の小金井市は25億円の赤字であり、1割強を活用すれば実現できる。

賛成討論 (要旨)

女性トイレの設置維持及びその安全と安心の確保を求める意見書

本意見書は、女性が被害者となることを想定しているが、差別を助長するものとならないか危惧する。トランスジェンダーやレズビアンなどの性的マイノリティの当事者や研究者に意見を聞いたが、トイレというプライベートかつセンシティブな問題について対立的に捉えることは差別を強く危惧する意見があった。「私たち抜きに私たちのことを決めないで」とするのが当事者人権の基本的な考え方であることを申し述べて私の反対討論とする。

会派名称の変更がありました

8月1日付けで、藤原議員所属の会派より変更がありました。市民会議(旧)が参政党小金井(新)になりました。

各案件に対する討論の原稿は、議員が作成しています。

議案の審議結果	○：賛成 ×：反対 △：退席 議：議長（原則、採決には加わらず）													議決結果										
	自		み		子		共		公		お		参		ネ	緑	街							
	河野	吹春	五十	遠藤	岸田	沖浦	鈴木	村山	古畑	渡辺	高木	片山	たゆ		水上	森戸	渡辺	小林	宮下	水谷	斎藤	安田	坂井	清水
付託先略称 即：委員会付託を省略し本会議で採決 総：総務企画委員会 厚：厚生文教委員会 建：建設環境委員会 予：予算特別委員会 決：決算特別委員会																								
黄否が分かれたもの																								
令和4年度小金井市一般会計歳入歳出決算の認定について	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	議	○	×	×	×	×	決	不認定
令和4年度小金井市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	議	○	○	○	×	○	決	認定	
令和4年度小金井市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	議	○	○	×	×	○	決	認定		
令和5年度小金井市一般会計補正予算（第6回）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	議	○	○	○	○	○	予	原案可決		
小金井市個人番号の利用並びに特定個人情報の利用及び提供に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	議	○	○	○	×	○	総	原案可決		
小金井市立公園、小金井市滄浪園緑地及び小金井市環境楽習館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	議	○	○	○	○	○	建	可決		
令和5年度小金井市一般会計補正予算（第7回）	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	議	○	○	○	○	○	予	原案可決			
↳ 令和5年度小金井市一般会計補正予算（第7回）に対する組替え動議（議員提案）	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	議	×	×	×	×	即	否決			
小金井市立学校給食費補助金の交付に関する条例（議員提案）	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	議	×	○	○	○	厚	否決			
全会一致となったもの																								
令和4年度小金井市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について、令和4年度小金井市下水道事業会計決算の認定について																					決	認定		
小金井市空家等対策協議会条例の一部を改正する条例																					総	原案可決		
小金井市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例																					厚	原案可決		
市道路線の認定について																					建	可決		
令和5年度小金井市国民健康保険特別会計補正予算（第1回）、令和5年度小金井市介護保険特別会計補正予算（第1回）、令和5年度小金井市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1回）																					予	原案可決		
令和5年度小金井市一般会計補正予算（第5回）、小金井市会計年度任用職員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例																					即	原案可決		
固定資産評価審査委員会委員の選任に関し同意を求めることについて																					即	同意		

意見書・決議の審議結果	○：賛成 ×：反対 △：退席 議：議長（原則、採決には加わらず）													議決結果										
	自		み		子		共		公		お		参		ネ	緑	街							
	河野	吹春	五十	遠藤	岸田	沖浦	鈴木	村山	古畑	渡辺	高木	片山	たゆ		水上	森戸	渡辺	小林	宮下	水谷	斎藤	安田	坂井	清水
※ 可決された意見書は、国等への関係機関に送付しました。																								
件名	要旨（提案議員が作成）																							
国民全体の負担が増える恐れがある大阪・関西万博の中止を求める意見書	×	×	×	×	△	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議	○	○	○	×	原案可決
人道的見地で難民政策の見直しを求めることに関する意見書	×	×	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	×	○	○	×	原案可決	
精神科病院の虐待・人権侵害を断ち切ることを求める意見書	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	△	○	○	○	原案可決	
女性トイレの設置維持及びその安全と安心の確保を求める意見書	○	○	○	△	○	×	△	△	○	×	×	×	×	×	○	○	議	×	○	×	×	○	原案可決	
米軍横田基地でのPFAS（有機フッ素化合物）漏出について、立ち入り調査と全容解明を求める意見書	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	議	○	○	○	○	×	原案可決	
食料自給率の向上と農業従事者の支援を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	原案可決	
ブラッドパッチ療法（硬膜外自家血注入療法）に対する適正な診療上の評価等を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	原案可決	
脱炭素と自然再興に貢献するサーキュラー・エコノミー（循環型経済）の推進を求める意見書	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	△	×	○	○	原案可決	
国内最古の高浜原発1号機再稼働に抗議し、「原発ゼロ」の実現を求める意見書	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議	○	×	○	×	原案可決	
離婚後共同親権制度検討に際し、子どもの視点に立った議論を求める意見書	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議	○	○	○	×	原案可決	
健康保険証の存続を求める意見書	×	×	×	×	○	△	○	△	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議	○	×	○	×	原案可決	
公民館や集会所の冷暖房の安定稼働を求める決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	原案可決	
福島原発汚染水海洋放出の中止と見直しを求める意見書	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議	○	×	○	×	否決	
より多くの市民の利益につながる方法で新庁舎等建設を行うことを求める決議	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議	×	×	×	×	否決	

【会派略称】 自：自由民主党・信頼の小金井 参：参政党小金井 み：みらいのこがねい 子：子どもの権利を守る会 共：日本共産党小金井市議団 公：小金井市議会公明党 お：小金井をおもしろくする会
 参：参政党小金井 参：参政党小金井 参：参政党小金井 参：参政党小金井 参：参政党小金井 参：参政党小金井

次の定例会中の委員会では審査する請願・陳情の提出期限は、12月1日（金）午後5時までです。

一般質問

(4面～6面) 9月5日、6日、7日、8日

※原稿は市長部局の答弁も含めて各議員が作成しています。二次元コードをスマートフォン等で読み取ると、YouTubeでご覧いただくことができます。

会派の略称

(自民党・信頼)	自由民主党・信頼の小金井	(こが おも)	小金井をおもしろくする会
(みらい)	みらいのこがねい	(参政党)	参政党小金井
(子どもの権利)	子どもの権利を守る会	(生活者ネット)	生活者ネットワーク
(日本共産党)	日本共産党小金井市議団	(緑・つながる)	緑・つながる小金井
(公明党)	小金井市議会公明党	(街の仲間たち)	街の仲間たち

HPVワクチン接種の男子接種にも助成を

吹春やすたか (自民党・信頼)



今、医療関係者から男子へも接種が必要と言われている。成人後接種は効果が薄く、若いうちに接種する方が効果があるとデータが出ています。年齢的に13歳を目処とした方がいいという説もある。男子接種のメリットは性交渉によるHPV感染リスクを減らし、年間約1万人と言われる国内の子宮頸がん発症を将来的に防げる。我が国含む世界的な傾向で中咽頭がんの発症率が男女とも増加傾向である。25年前と比較して男性新規診断患者の半数以上がHPV関連感染と考えられ



る。接種男子の陰茎がん、肛門がん等の予防にもなる。欧米各国では男子へも積極的な接種勧奨が進みオーストラリアでは男子女子共に8割近く、アメリカでも男子女子共に5割を超える接種をしている。国内でも市区町9行政で男子接種を実施している。そこで、本市でも男子へのHPVワクチン接種助成を検討しないか。

部長 小金井医師会から男性HPVワクチン接種への助成の要望を受けている。国においては男子接種の定期接種化の議論中である。都の自治体への補助金実施の動向や既に実施している自治体や近隣市の状況を注視しつつ検討したい。

避難行動要支援者の支援は「近助」のチカラで

鈴木成夫 (みらい)



避難行動要支援者の個別支援プラン(以下「プラン」)作成の努力義務化に伴うプラン作成は、近助(隣近所の助け合い)でと考えるが、プラン作成者数を増やす工夫、支援者選定の課題は何か。また、モデル地区以外の障がい者のプラン作成に障害者相談事業所の活用を検討しないか。

部長 令和5年7月20日に避難行動要支援者支援モデル地区自治会連絡会を開催し課題共有と意見交換をした。令和6年1月頃には優先度の高い名簿登載者100人に対しプラン作成者を募る予定。自治会連絡会で今



個別支援プラン作成者数を説明する鈴木議員

災害時のトイレ問題／単身高齢者の住居対策

小林正樹 (公明党)



9月1日は関東大震災から100年の節目となる防災の日である。防災の取組として発災後に生活環境の悪化やストレスが原因で亡くなる災害関連死への対策も必要であり、その中でトイレ問題への対応も重要とされる。(ア)避難所となる学校の屋内運動場、屋外にあるトイレの状況は。(イ)マンホールトイレの整備は。(ウ)避難想定において防災計画に定めた数に対する充足状況は。(エ)自宅避難時のトイレ対策を周知すべきである。

部長 (ア)最優先課題として洋便器化を実施し令和3年度には全校の整備を完了



した。(イ)小中学校14校のうち10校で整備済み。来年度には全てに整備される。(ウ)来年度で充足される。(エ)周知を図っていく。

②単身高齢者の住居問題について、連帯保証人や緊急時の連絡先の確保、訪問などによる見守り支援などといったソフト面での対応・住宅確保要配慮者の入居を拒まない低家賃の住宅の確保などといったハード面での対応が必要である。(ア)IoT技術を活用した最新の見守り制度を導入しないか。(イ)社協の「おたすけあんしんパック」の周知を注視する。

部長 (ア)検討を進めていく。(イ)本事業の今後の経過を注視する。

武蔵小金井駅北口再開発／図書館本館の将来

五十嵐京子 (自民党・信頼)



6月議会で武蔵小金井駅北口駅前東地区市街地再開発準備組合発行のまちづくりニュース創刊号が配布された。歓迎すべきことで、多くの市民が待っている事業である。(ア)特に地域の市民には情報の発信をしていただきたい。(イ)人口減少になっても駅周辺には賑わいの創出が必要であり、継続的に人が集まり公共サービスが展開される場所の確保を検討してほしい。(ウ)資金的な準備で基金を積み立てていくべきではないか。

部長 (ア)準備組合として調整したい。(イ)貴重な意見と受け止めた。(ウ)資料作成の中で整理していく。②図書館本館について、昨年3月発行の図書館基本計画に、施設の収蔵能力は既に限界を超えているとある。多摩26市の比較で、市民一人当たり図書費は上から2番目だが、延べ床面積は下から3番目。ゆつたりと書籍などに目を通す環境が求められている。長寿命化計画では修繕を図ることになっているが、市民サービス上これで良いのか。

部長 関係部署と連携を持ち適切な施設の在り方に努めたい。

教育長 課題が大きいことは認識している。

市長 優先すべき機能を教育委員会とも検討したい。



生成AIの活用／産後ケアの拡充／0～2歳支援

水谷たかこ (こがおも)



(ア)多摩26市で半数以上の自治体が生成AI(ChatGPT等)を導入または検討しているが、本市の検討状況は。(イ)ガブテック東京に期待できることは。

部長 (ア)無料トライアル等を活用した検証を行い、利用環境の整備につなげていきたい。(イ)オンライン手続の推進やDX人材の活用将来的には電子契約システムの導入等に期待する。

②産後ケア事業について。(ア)桜町病院は母子分離で母乳育児しづらい。(イ)矢島助産院では宿泊も利用したいとの声があるがいかか。

部長 (ア)生後4か月以内



なら母子同室が可能。(イ)利用者との声もあり、拡充を事業者と協議していきたい。

③(ア)保育園児1人に年間約24万円の税金が使われ、保育園未利用の0～2歳児とのバランスを欠く。何か支援が必要では。(イ)子育て応援券の検討状況は。(ウ)子ども商品券のデジタル化を。④必要があると感じている。(イ)サービスを利しやすくなり子育て世代の支援につながるが、大規模な事業であり、本市で実施するならば、かなり大きな課題であり、負担になる。(ウ)利用者の利便性の向上や事務の負担軽減、効率化につながる。課題はあるが導入に向けて検討したい。

市内に一つしかない市営屋外運動場の整備向上を

沖浦あつし (みらい)



昨年度、市が実施したアンケートで市民要望の多かったグラウンド整備について。(ア)上水公園運動施設(通称市営グラウンド。以下「市営G」)について、個別施設計画には管理棟(建物)の記載のみ、整備面で施設計画はあるか。(イ)本市スポーツ推進計画に市営Gの整備計画はあるか。(ウ)市営Gの整備レベル向上は、施設の老朽化対策とは関係ない。スポーツ振興の観点で、今年度の施設方針質疑では「場所がないことが本市の一番大きな課題。その課題には、限られた場所での質の向上」と市長答弁がある。

さらに本市基本構想の施策の方向性の冒頭には「施設の計画的な整備を進め」とある。市営Gの整備計画を作るなり、市民に見える形で協議検討していくべきと考えられるが、見解はどうか。

部長 (ア)中長期的な維持保全の方向性がなく、策定していない。(イ)具体的整備内容の計画はない。老朽化対策優先で施設改修する。

教育長 (ウ)市営Gの整備は大きな課題と捉える。現時点では具体的な約束は難しいが、問題点は認識しており、引き続き努力する。

■その他、市道に越境する樹木の対応と市民への周知、市民交流センターの利用環境について質問しました。



デジタル地域通貨を創設し地域経済の振興を

村山ひでき (みらい)



キャッシュレス総合決済事業者と個店との間には決済、振込手数料等が発生し利益を圧迫している。事業者の負担を軽減し、地域内消費者への還元を増やし、資金の地域外への流出を減らすため、デジタル地域通貨という独自の決済手段を作り出し商圏を確保し商店を守るべき。行政によるポイント付与サービスをデジタル地域通貨で行うことも可能。(ア)デジタル地域通貨の課題は。(イ)さらポイントカード事業の課題は。(ウ)さらポイント事業を継続し発展的に課題を解消するため、関係地域団体、地元

金融機関、市の3団体で研究する場をつくらないか。

課長 (ア)地域通貨は限られた地域や共同体の中で使用する仕組み。消費者にとって広域的な使用ができず利便性が高いとは言えない。導入コストやランニングコストを誰が負担するのかも課題。消費者が「使ってみよう、使い続けよう」と思えるか、「自走できる仕組み」となっているか。ポイント。(イ)加盟店はピーク時の約半分の78店、ポイント売上額も2割程度まで減少。機器のメンテナンスも課題。(ウ)商業環境が大きく変化している中で同じような事業形態を維持するのは厳しい。研究課題としたい。



来年度予算編成に向けて

高木章成
(子どもの権利)



①市長が就任されて10か月になるが、本年度予算の執行状況について自身の政策意思は十分に反映できているか。(イ)改善したい課題認識は。

市長 (ア)基本構想・前期基本計画に基づく予算であり政策意思を反映。(イ)現時点で評価、課題を述べることは差し控える。

②保育園2園の募集停止が進んでおり、市長の政策意思が執行に反映されず市長の公約に反することになっているのではないかと。市長 二元代表制の観点からも適切に業務を行っている。

③どのようなものを白井カラーとして盛り込み、削るとお考えか。
市長 本市における課題、市長として公約に掲げたこと、財政状況や財政規律など踏まえ、政策の優先順位を持ち、判断し、適切に組んでいきたい。
④本市における専決処分の運用状況について、説明を。
部長 やむを得ない場合に運用してきた。
⑤西岡前市長による廃園条例の専決処分も同様か。
部長 同様の認識で実施。
⑥今後変わることはないか。
市長 変わることはない。

都市計画道路3・4・1号線の諸問題について

古畑俊男
(子どもの権利)



東京都施行の優先整備路線である小金井3・4・1号線は、国分寺崖線を通り、市内を東西に縦断する。(ア)当計画は直接公園計画に重複する面積は少ないが、周辺の自然環境に与える影響についての見解は。(イ)計画線から南側の地域は十分な道路環境とは言えない。もし小金井3・4・1号線の整備があるとすれば、同時に周辺地域の抜本的な対策が必要である。また、計画では小金井街道前原坂下交差点と重なり、複雑な変則五差路となる。中央線の高架が完了したにも関わらず、現在も朝夕の渋滞が発生し

ている。小金井3・4・1号線が前原坂下交差点に直結することにより、今以上に渋滞が激しくなるのではないかと。(ウ)都市計画は自然環境保全や交通ネットワーク構築の観点から慎重に議論されるべきである。
部長 (ア)道路計画と公園計画の重複する面積のみで自然環境への影響を評価するのは難しい。
部長 (イ)都市計画道路はネットワークの検証が行われ、必要性が確認されている。
市長 (ウ)環境保全の機能を有する公園計画と道路等の都市計画との関係を勘案し、適切に対応する。

学校における命の授業の充実を

渡辺ふき子
(公明党)



①国は子どもたちを性犯罪・性暴力の被害者や加害者・傍観者にしないことを目標に、命の安全教育を推進している。一方、日本思春期学会では、10代20代の若い世代の性感染症の急増を受け、義務教育において正しい知識と適切な行動を学ぶことを提唱している。

(ア)若者の命と健康を守るため、年齢に応じた命の安全教育を行うべき。(イ)命の現場で働く産婦人科医や助産師による命の授業(性教育)を実施しないか。
部長 (ア)文部科学省からの教材を使い、義務教育段階において3回の命の安全教育の授業を確実に行う。教育の充実を確実に。 (イ)都が中学生に対し、産婦人科医による性教育を実施しており、本市では昨年2校、今年度3校が中学3年生に授業を行う予定。
②子どもの読書活動推進に最も身近な学校図書館の充実を。(ア)市内の学校図書館の図書購入について、廃棄と更新は適切か。(イ)主権者の資質を身に着けるため、国は新聞の配備を推奨しているが我が市も配備すべき。
部長 (ア)学級数増加やGIGAスクールへの対応もある。基準は10年だが、工夫しながら図書を提供している。(イ)図書館への配備は一部の学校にとどまる。

子どもたちみんなで見守り地域の中で

遠藤百合子
(自民党・信頼)



子どもの安全・安心の確保は家族にとって最大の関心事で、社会全体で取り組む必要がある。(ア)子どもを見守る家、カンガルーのポケットの現状と今後は。(イ)登下校時の見守り体制は。(ウ)防災行政無線「ふれあいメロデー」活用は。(エ)安全・安心まちづくり条例の動向は。(オ)安全・安心メール配信システムの現状と利用拡大は。(カ)わんわんパトロールの理解と協力を。(キ)民間事業者との連携は。

2年度にデザインを一新し、ステッカーからプレート型に変更。今後は防犯講習会を企画したい。(イ)PTA・学務課・小金井警察・道路管理課・交通対策課の通学路点検で指摘箇所を対応する。部長 (ウ)企画政策課と連携し、小金井市歌を楽曲とする形で進めている。(エ)小金井市防犯指針を定め効果的な防犯作りに努める。(オ)登録は1万730件、令和5年度からは気象情報・Jアラートと連携している。(カ)小金井・国分寺防犯協会で8団体と活動継続している。(キ)2事業者と協定締結、11事業者に協力要請している。その他、薬物乱用防止について質問しました。

HPVワクチン副反応周知を震災井戸は安全か

安田けいこ
(生活者ネット)



①子宮頸がん予防ワクチンから呼称変更したHPVワクチンの副反応被害について。(ア)令和3年度に本市で発生した被害者の接種時の学年、ワクチンの種類と接種回数、症状と治療法、現在の状況は。(イ)進路に関わる大切な時期だが、学校や医師会との連携は。(ウ)接種を勧奨した自治体としての責任は。(エ)接種者536人で被害発生は頻度が高い。接種者の追跡調査をするべき。(オ)男子への接種について、1月から3月の厚労省の副反応報告で重篤11名中死亡1名とある。学齢期の男子への接種の効果とリスクについて市の考えは。(カ)市内での副反応被害を接種対象者に周知するべき。

部長 (ア)症状等は個人情報なので答弁は控える。本年5月に国に進達し審査待ちである。(イ)本件では必要のない。(ウ)真摯に受け止める。(エ)国が調査分析するべき。(オ)男子特有の副反応症状は散見されない。(カ)個別の事例は周知しない。
②(ア)災害時に給水所で配布する水は浄水か原水か。(イ)震災対策用井戸の水は飲用に適しているのか。PFAS検査はしているか。
部長 (ア)水道水と同じ浄水である。(イ)適している井戸と適していない井戸がある。PFAS検査はしていない。

昨年訴えた不登校支援の重層的取組の現状を問う

岸田正義
(みらい)



「制度に子どもを当てはめるのではなく、子どもに制度を合わせていく必要がある」と訴えた不登校支援の重層的取組について問う。(ア)現在の不登校児童生徒数は。(イ)不登校の30%、40%が発症すると言われる起立性調節障害の児童生徒数は。大きな課題でありながら、実態や苦しみが知られていない。ガイドラインを作成して周知啓発すべき。(ウ)フリースクール等民間支援施設は必要と考えるか。連携状況は。利用者や施設へ経済支援すべき。(エ)中学校の学習支援に注力すべき。(オ)新たに始まった校内別室指

導の状況は。教室ではない居場所として期待しており、全校で設置していくべき。(カ)今後の不登校対策は。
部長 (ア)小学校150名、中学校120名。(イ)正確な人数は把握していない。理解促進について調査研究したい。(ウ)必要である。フリースクール主催者を招致し副校長会で講演会を行った。経済的支援は東京都事業や他市の動向に着目していく。(エ)効果的な学習支援の在り方を模索していく。(オ)周知や指導方法含めて手探りの部分がある。居場所の選択肢として充実させていきたい。
市長 (カ)目指すは公的な学びを保障し、選択できる環境を整えることである。

男子へのHPVワクチン接種に市の助成を求め

清水がく
(街の仲間たち)



頭頸部外科学会はHPVワクチンの男子への定期接種化を国に要望し、東京都医師会も東京都に同様の要望をした。私からも市に対し、機会あるごとに国や東京都にHPVワクチンの定期接種化の要望をすることを求める。

男性においても中咽頭がん、陰茎がん、肛門がん等を予防する効果がある。がんで苦しむ方々を減らすために男女ともにHPVへの集団免疫をつくるのが急務であるし、HPVワクチン接種が大きな効果にもつながる。そのためにも、選べる任意接種において市の助成が必要と考える。あわせて、日本耳鼻咽喉科

香りのマナーでなく香害化学物質過敏症の周知を

坂井えつ子
(緑・つながる)



国が5省庁合同で作成した啓発ポスターの文言を「知ってください。その香り困っている人もいます」と改訂した。香り付き製品は使用量を守っても影響が出る方がいるため、十分ではないが周知は必要だ。(ア)消費生活相談室に相談はあったのか。(イ)健康被害の声を聞くことからも香害・化学物質過敏症として捉えることが必要ではないか。(ウ)周りの人が知ることが必要ではないか。(エ)市民部と福祉保健部で、取り組む旨の答弁があった。国の5省庁連名の周知のような横断的な周知を、総合調整権のある市長に求める。

課長 (ア)2022年度に1件あった。(イ)消費者相談全体に占める割合は低いが、個々の相談者の状況は深刻だ。国のポスター改訂を受け、「香りのマナー」啓発ポスター改訂を予定している。
部長 (ウ)様々な特性を持った人が共に生きる社会を指す点においても一定の周知は必要であると考えられる。部内で考える。
市長 (エ)化学物質が日常生活に蔓延しているという点、香害に苦しんでいる方がいることを、改めて問題提起をご丁寧に行いたい。庁内横断的な周知も含めて取り組んでまいりたい。

小児への新型コロナウイルス ワクチンは慎重に

齋藤康夫
(参政党)



令和4年の合計死亡者数は令和2年と比べコロナ関連死者数を除いて約16万人増加している。広島原爆による死者数に匹敵する。ワクチン接種の3回目、4回目、5回目の接種数グラフの3つの山は超過死亡数のグラフの3つの山と時期、形状がほぼ一致している。原因究明はされていないので、この理由はコロナワクチンの副反応の可能性を否定できず、コロナで亡くなる方よりワクチンで亡くなる方のほうが多いという可能性があるとみえる。

(ア)厚生労働省は、9月20日からの追加接種は高齢者と基礎疾患がある方以外の生後6か月以上の努力義務を撤回した。この状況の中、小児に対するワクチン接種は慎重にすべきで、接種券を直接送るのではなく、保護者に考慮する機会を与えるためにハガキ通知にすべき。(イ)泉大津市のワクチン接種後の死亡者、健康被害者への健康被害支援金制度を小金井市でも導入すべき。

部長 (ア)令和5年秋の一斉発送以降、努力義務が外れる方には接種を希望する方の申請により接種券を発行するように変える方向で検討している。(イ)国の制度として健康被害救済制度があるので、現時点では支援金を創設する考えはない。

学校給食費無償化をより良い介護保険制度に

たゆ久貴
(日本共産党)



全国及び都内で学校給食費無償化が進んでいる。都内ではすでに21区1市5町村にまで実施及び実施予定である(質問時点)。多摩格差と言われ財政的に実施が難しいと言われる多摩地域でさえやっている市がある。日本共産党は長年、無償化を求め続け一般質問や条例提案なども行ってきた。子育て世帯にとって経済的負担が大きいのしかかっている学校給食費は、義務教育は本来無償であるから、無償化されるべきである。(ア)学校給食無償化の広がりをどうとらえているか。(イ)市は毎年のように20億円以上

の黒字を出して翌年度に繰り越して、基金に積んでいる。それを活用し、市として学校給食費無償化を行うべき。

部長 (ア)物価高騰の中で、保護者の負担の軽減を図ろうと、都内の一部の自治体で期間限定等を含めて無償化を行うことは承知している。一般財源を捻出するとなると、実施するのは大変厳しい。学校給食費無償化は国レベルの施策で実施するものと考えられる。(イ)給食費補助に一般財源を使うことは難しい。

■その他、介護保険・介護サービス・ヤングケアラー支援の改善・拡充を求めました。

子どもの貧困対策の強化を求める

水上洋志
(日本共産党)



子どもの貧困対策について。(ア)そこに焦点を当てたニーズ調査を行わないか。(イ)ひとり親家庭への家賃助成を実施しないか。

部長 (ア)ひとり親家庭を対象にした調査を予定している。(イ)住宅相談は福祉総合窓口につなげる。

②生活保護の改善について。(ア)「電気代の値上げでエアコンを使っていない」という利用者がいる。夏季加算や見舞金などの支給を行わないか。(イ)高齢者世帯などへのエアコン設置費助成を実施すべきではないか。

部長 (ア)市長会要望で、夏季加算の支給、都の独自の対応を求めている。(イ)都の省エネ事業を紹介している。

③保護猫活動に支援を行うてほしい。

部長 助成金などの情報をポランティアに伝えていきたい。

■その他、COCOパスの運賃値上げを元に戻し、シルバーパスが使用できるようにすること。東小金井駅でのまたぎ利用の改善、ベンチの設置、回数券販売所の増設、北東部循環のバス停をnonowa北口付近に新設することについて質問しました。

3・4・11号線/市内農産物のブランド力向上

河野麻美
(自民党・信頼)



(ア)行政計画に、市長自ら率先して取り組むべきと定めた小金井3・4・11号線の整備は必要である。当該地域の通過交通の危険性を軽減するため年間約400万、延べ約1億円を要し配置する交通誘導員を今後も継続するののか。(イ)国分寺崖線に既に整備された都市計画道路2路線について、東京都の環境影響評価事例事後調査報告書によると環境に係る測定値は予定値を下回り環境が破壊された事実はない。道路整備ははげと野川の自然を破壊すると主張する根拠は。都市計画道路の整備は都市

計画マスタープランに基づくものであって、情勢の変化に際し、計画の見直しもあり得る旨の記載があるが、これらの都市計画道路の整備対策が不要になったという情勢の変化があったのか。

市長 (ア)財政負担軽減ではなく、本市の環境保全の観点で判断する。(イ)環境が変わることは壊されることである。(ウ)都市計画マスタープランに基づき執行する。

②市内関係者が広く参加し、少量多品目生産を中心とする都市農業が持続可能となるための施策基盤の構築や支援体制を整えていくことを強く要望する。

課長 本市の地域特性を踏まえつつ研究する。

東小金井駅周辺の自転車置き場の増設を

森戸よう子
(日本共産党)



東小金井駅近くの自転車置き場が廃止され、市民から苦情が寄せられている。北口に出店する大型店舗の駐輪場を増やすことや、区画整理区域内のまちづくり用地の暫定使用などで増設しないか。

市長 大型店舗には附置義務以上の台数の設置を求めている。区画整理の状況も踏まえ、できることを検討する。

②都市計画道路3・4・11号線について。(ア)市長はなぜ、中止の申し入れを行わないのか。(イ)東京都にヒアリングした結果、今年度

がついていることが明らかになった。また令和3年度の国土交通省の交通量調査結果は過去と比較して減少しており、都の将来交通量予測の根拠は崩れている。市長は早急に都に要請すべきである。

市長 (ア)調整中である。

部長 (イ)新しい交通量データに基づく検討が必要だと考える。

③人体に影響がある有機フッ素化合物汚染について、防衛省は米軍横田基地からの漏出を日本共産党のヒアリングで初めて認めた。災害井戸の検査、血液検査を行わないか。

部長 現時点で検査を行う考えはない。

70年間で17億円のムダ こうすれば防げる

渡辺大三
(子どもの権利)



新庁舎及び新福祉会館建設事業。市民案(見直し案)は、執務面積は減らさないで、地下駐車場や中間免震層で減らし、2千㎡の面積を削減する。現設計は建設費15億円だが、見直し案は91億円となる。70年間のライフサイクルコストでは、現設計は46億円、見直し案は36億円、差は10億円という大きな開きとなる。現設計のまま進めていくのは妥当なのか。私は是正すべきと考える。

部長 面積を削減することにより、ライフサイクルコストも連動して減額するということには異論はない。

地下駐車場を地上に置く、執務環境に影響がない範囲で中間免震層をなくすという考えが前提ということであれば、削減面積分のライフサイクルコストの削減に何うか、私どもは現設計を進めることを基本とし、早期実現を目指す。

■その他、連雀通りの中町の狭隘部分(都市計画道路でない部分)の交通安全について、先進自治体の事例(センターラインをなくし、車道幅を狭くし、歩道スペースを広げる)により、大型車の流入を減らし、また、自動車が速度を落とすようになる効果を生み出す)の研究を求めました。

地域からの難民支援と精神障がい者の退院支援を

片山かおる
(子どもの権利)



(ア)4月にできたアルベなんみんセンター小金井の把握は。鎌倉のなんみんセンターの活動の把握は。(イ)「鎌倉なんみん共生フォーラム」を参考に地域での取組を。(ウ)「難民を支える自治体ネットワーク」への参加を。(エ)仮放免者、難民等の把握と支援を。(オ)外国籍市民への支援を居住支援協議会の課題に。(カ)外国籍児童への学校や保育等の支援体制を。(キ)学校で難民問題に触れる機会は。

市長 (ア)2020年に鎌倉に設立、難民シェルターとして住居、食事提供。今年4月に小金井に2つ目が

開始。(イ)後援などで支援。 (ウ)所管の整理など、できることから検討を進める。

課長 (エ)確認できる仮放免者は0件。

部長 (オ)意見として承る。多言語表記については研究。(カ)学校ではスクールソーシャルワーカーが調整の役割。指導主事 (キ)小学校6年生の社会科で難民の話題に触れることもある。

②精神病院入院や施設入所後の生活保護利用者も含めての状況把握を。地域生活中心に。

部長 医療保護入院だと把握できるが、任意だと把握できない。地域の暮らしの支援体制は協議会を立ち上げて議論していく。

委員会の視察先とテーマ

厚生文教委員会
10月16日
▽東京都調布市
知的障害者援護施設について

建設環境委員会
10月24日、25日
▽愛知県名古屋
名古屋交通計画2030の取組について

議会運営委員会
10月18日、19日
▽岩手県滝沢市
議員間討議について
市民参加(議会モニター、議会サポーター、議会アドバイザー)について

▽愛知県蒲郡市
ごみ減量への取組について

▽岩手県北上市
政策提言について
タブレット端末の活用について

※過去の行政視察報告書は、議会図書室(本庁舎4階)または情報公開コーナー(第二庁舎6階)で閲覧できます。また、行政視察報告書を市ホームページで公開しています。

請願・陳情の審議結果

付託先略称 総：総務企画委員会 厚：厚生文教委員会
 建：建設環境委員会 議：議会運営委員会
 庁：庁舎等建設及び公共施設マネジメント推進調査特別委員会

○：賛成 ×：反対 △：退席 議：議長（原則、採決には加わらず）

請願・陳情	議員													議決日	議決結果										
	自	み	子	共	公	お	参	ネ	緑	街	付託先														
障害者支援施設を小金井市内に作ることを求める陳情書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	厚	8月31日	採 択				
健康保険証の存続を求める陳情書	×	×	×	×	○	△	○	△	○	○	○	○	○	○	×	×	議	○	×	○	○	厚	9月25日	採 択	
市民の手による緑化環境保全推進のため草木類管理の手引きを作成し、その告知に努めることを求める陳情書	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	議	×	○	×	×	建	9月25日	不採択	
暫定庁舎案の策定を求める陳情書	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	庁	9月25日	不採択	
指定管理者関係条例の違法条項の改正を求める陳情書	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	総	9月25日	不採択	
新庁舎等建設において約3000㎡の広場を確保することを求める陳情書	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	議	×	×	×	×	庁	9月25日	不採択	
新庁舎と新福祉会館の耐震構造を同一にすることを求める陳情書	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	議	×	×	×	×	庁	9月25日	不採択		
新庁舎等建設の現設計を見直し、地下駐車場の廃止等で約2000㎡の床面積削減を求める陳情書	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	議	×	×	×	×	庁	9月25日	不採択		
新庁舎等開設にあたって空きスペースとなる「保健センター」スペースの有効活用を求める陳情書	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	△	△	△	×	×	議	×	×	×	×	庁	9月25日	不採択		
新庁舎等の建物の中に現在の床面積の約2倍の図書館本館を整備することを求める陳情書	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	庁	9月25日	不採択		
新庁舎「議場」スペースの多目的利用（市民利用含む）を可能にするため、具体的措置を求める陳情書	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	議	×	×	×	×	庁	9月25日	不採択		
議会成果物のHP公開において関連情報がワンストップでわかるようにすることを求める陳情書	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	議	×	×	×	○	○	○	議	9月25日	不採択 (議長裁決)

※可否同数の場合、議長が可否を決定します。

【会派略称】 自：自由民主党・信頼の小金井 参：参政党小金井
 み：みらいのこがねい 子：子どもの権利を守る会 共：日本共産党小金井市議団 公：小金井市議会公明党 小：小金井をおもしろくする会
 ネ：生活者ネットワーク 緑：緑・つながる小金井 街：街の仲間たち

閉会中の委員会日程及び審査案件

厚生文教委員会

10月30日（月）午前10時
 11月8日（水）午前10時

▼国に対し「保育士配置基準の最低基準の引き上げと保育予算の大幅な増額を求める意見書」の提出を求める陳情書 ▼福祉的視点から高齢者施策の充実を求める陳情書 ▼客観的な証拠を提出できない公務員の業務のあり方を改めることを求める陳情書 ▼応募者の人数について確認のとれない社会教育委員の選考についてそれが適正に行われたかの調査を求める陳情書 ▼小金井市議会に対し国会は国民年金法24条を改正するよう求める意見書を提出することを求める陳情書 ▼障害福祉計画及び介護保険・高齢者保健福祉総合事業計画について ▼保育政策の課題について

議会運営委員会

10月31日（火）午前10時
 11月27日（月）午後2時

▼議会改革に関する諸問題の調査 ▼①次期定例会（臨時会を含む。）の会期及び会議日割等、議会運営

に関する調査、②議会の会議規則、委員会条例等に関する調査、③議会運営に関する議長の諮問事項について

建設環境委員会

11月1日（水）午前10時

▼循環型社会の形成及び温室効果ガス削減に関する調査 ▼地域公共交通に関する調査

庁舎等建設及び公共施設マネジメント推進調査特別委員会

11月10日（金）午前10時

▼技術的に懸念のある構造物を公共の建物に使わないことを求める陳情書 ▼議会において新庁舎設計案の見直しの決議を行うことを求める陳情書 ▼庁舎等建設及び公共施設マネジメントの推進に係る諸問題の調査

行財政改革推進調査特別委員会

11月17日（金）午前10時

▼行財政改革の推進に係る諸問題の調査

総務企画委員会

11月20日（月）午後1時

▼男女平等基本条例の理念を尊重し、小金井市の事業や後援を適切に行うことを求める陳情書 ▼小金井市消防団第一分団における出勤手当不正請求事件について、全容解明と責任の所在の明確化を求める陳情書 ▼公益通報者保護法の趣旨に添い、あらゆる通報者情報暴露リスクから通報者を守ることを求める陳情書 ▼地方税法343条（固定資産税の納税義務者）を改正する市議会の意見書を求める陳情書 ▼市長へのEメールにおいて送信者の質問文を添付して返答することを求める陳情書 ▼情報公開請求の決定期間延長の理由において「業務繁忙」を部局判断で行わないことを求める陳情書 ▼市民から預かった書類を軽易と判断する慣例もしくは風潮を改めることを求める陳情書 ▼小金井市文書管理規程第9条の「軽易」についての定義を明確にし、全庁的に統一した運用をすることを求める陳情書 ▼机を叩くなどの行為をする教育長の任命についてその再認定を行うことを求める陳情書 ▼物価高騰等による燃料費補助支援の拡充を求める陳情書 ▼小金井宮地楽器ホールを市民が利用しやすい様に改善を求める陳情書

議会報告会を開催します！

～市民と議会の交流会議～

同じ内容で、2会場で開催します

- ①令和6年1月26日（金）午後7時から
会場：東小金井駅開設記念館（マロンホール）集会室AB
- ②令和6年1月27日（土）午後2時から
会場：小金井市役所本庁舎3階 第一会議室



あなたの意見を
聴かせてください！

※詳細は決まり次第、市議会ホームページで紹介いたします。
 ※後日、録画配信も予定しております。
 ※保育あります。（1歳児以上、要事前予約）



問合せ先：議会事務局庶務調査係（☎042-387-9947）

議員研修会を開催します

この研修は市民の方にも公開しますので、ぜひ、ご参加ください。

また、当日はYouTubeにて配信も行う予定です。



テーマ 武蔵野新田開発について
 日時 令和6年1月16日（火）午後2時から
 場所 小金井市役所本庁舎3階 第一会議室
 講師 大石 学 氏（東京学芸大学名誉教授）
 定員 40名（申込不要／当日先着順）
 問合せ先 議会事務局庶務調査係（☎042-387-9947）

広報協議会を開催しました

【9月21日・11月24日】

- ▼1 各部会の状況報告について
- ▼2 議会改革の調査事項について

全員協議会を開催しました

【9月13日】

- ▼ 庁舎等複合施設建設事業の検証結果及び再開について



小金井市はGPN会員として
 印刷のグリーン購入に取り組んでいます

この議会報は再生紙を使用しています。※ごみ減量と資源の再利用にご協力ください。
 この印刷物は、植物性インキ（石油系剤を利用するかわりに植物油を溶剤としたインキ）を使用しています。

現設計に対する検証結果が報告されました

新庁舎及び(仮称)新福祉会館建設事業

今年6月に開催された令和5年第2回市議会定例会において、現設計の検証を実施する予算を盛り込む修正案が可決されたことを踏まえ、コストダウン等の観点から8月末日を期限として検証が実施されました。

その後、第3回市議会定例会において、市長から、設計のやりなおしによる効果は見い出せなかったとの検証結果(右表)の報告と、それを踏まえた本事業の再開方針が下記のとおり示されました。

検証結果を踏まえての市の再開方針

- (1) (仮称)新福祉会館先行竣工に伴う課題解消のため、新庁舎と(仮称)新福祉会館の同時竣工(検証結果④)のみ設計に反映させる。
- (2) 広場(検証結果⑨)については、拡大が可能か、詳細検討する。

検証結果及び市の再開方針に対する市議会各会派の見解を下欄に掲載しましたので御一読願います。

検証結果(概要)

	概要	設計期間(か月)	設計費用(億円)	工期「福祉会館/庁舎」(か月)	工事費増減(億円)	設計費用と工事費増減の合計額(億円)
①	総耐震+地下駐車場廃止+立体駐車場	15	2.3	20/26	-3.7	-1.4
②	総免震化	18	2.2	27/29	+3.0	+5.2
③	地下駐車場廃止+立体駐車場	18	1.7	22/27	+3.1	+4.8
④	同時竣工時の影響	1	0.1	29/29	-0.1	+0.0
⑤	外壁仕様変更	6	0.5	22/31	-0.1	+0.4
⑥	庁舎西側階段の削減	4	0.4	22/29	-0.1	+0.3
⑦	議場の上部カット	9	0.5	22/29	-0.1	+0.4
⑧	庁舎北面3階以上段状形状見直し	18	2.1	22/29	-2.7	-0.6
⑨-1	広場の再検討(地上駐車場縮小+立体駐車場)	4	0.3	22/29	+4.5	+4.8
⑨-2	広場の再検討(地上駐車場縮小①)	4	0.3	22/29	-0.0	+0.3
⑨-3	広場の再検討(地上駐車場縮小②)	4	0.3	22/29	-0.0	+0.3
⑨-4	広場の再検討(駐輪場縮小①)	4	0.3	22/29	-0.2	+0.1
⑨-5	広場の再検討(駐輪場縮小②)	4	0.3	22/29	-0.2	+0.1

自由民主党・信頼の小金井

庁舎等建設費のコストダウンを図ることを目的とした検証で最も効果が出ると思われたのが、地下駐車場をなくし、庁舎も福祉会館も耐震構造にするという方法だった。しかし、検証の結果、これにより3.7億円の削減効果が見込まれるものの、設計のやり直しに2.3億円がかかることになり、差し引き1.4億円しかコストダウンにならないことがわかった。しかも、設計のやり直しで約1年工事着工が遅れることになる。ここしばらく建設業界は資材高騰が続いており、この1年で1億円高騰することになれば実質コストダウンがほぼ0で、時間だけが長引いたこととなり、あまり意味のないことになる。

結局、この局面では実施設計のまま進めるか、それとも設計のやり直しをするかという選択をせざるを得ないが、この選択こそ、市政の最高責任者である市長が判断すべきことであり、白井市長の責任で行うべきである。昨年の協議の時に持った意見は、実際に検証しなければ先に進めないと考えていたので、まとめを作る前に辞職し、1年間止まってしまったことに関し、西岡前市長の責任は重い。

日本共産党小金井市議団

新庁舎等建設の設計の検証が行われたことは意義があったと考えるが、そのまま実施設計を再開することには問題がある。検証の結果、現設計ではコストダウンが望めず、市民生活に影響を与えないために現設計を見直し、思い切ったコストダウンを行う必要がある。

市民説明会を行わないうちに実施設計の予算を再開することは可決された決議にも反する。市民説明会は新たな予算措置をしなくても実施できる。

日本共産党が他会派と共同で組替え案を提案したように、1万人アンケートなどを行い、市民に現設計の是非を含めて意見を聞くべきである。

また、「見直し案」は建設費で23億円、ライフサイクルコストは70年間で117億円ものコストダウンになると試算されており、比較検証を行うことが必要である。

生活者ネットワーク

現設計を基本とし、可能な限りの早期建設を目指すよう求めてきた。議会が求めた検証の結果コストカットの困難さが明確になり、理解が進んだと言える。今後は必要な駐車台数を精査し、使い方を広場について検討を重ね、議会での合意形成に努めていきたい。

みらいのこがねい

現本庁舎の耐震不足等の老朽化やエレベーターがないバリアフルな状況、非効率な分散庁舎、市民利用や福祉の拠点となる福祉会館機能の早期回復、30年にわたる第二庁舎ビルの賃借料は75億円を超え、さらには建築資材の高騰など1日も早く結論を出すべき課題であり、市長提案の本事業再開予算に賛成したが、約600万円を増額した上に2か月の延伸となる議員提案に対しては、市民の利便性や必要な機能を低下させず大幅なコスト減の確実な担保の確認がないこと、提案議員の考えが全く異なることなどから反対した。検証結果は、西岡前市長時代から答弁されていた「床面積の削減なしに大幅なコスト減は困難である」ことが数値化され立証されるに留まり、まさに我が会派が予め指摘したとおりの結果となったが、可視化されたことにより共通の理解になったことは歓迎したい。本結果を受け示された市の再開方針①新庁舎と(仮称)新福祉会館の同時竣工、②広場の再検討を仕上げの実施設計で行うことは、本来の検証目的であったコスト減に資するものではないが、現実的で妥当な判断と評価し、この方針に従い本事業を再開することを支持する。

小金井市議会公明党

我々は、他の施策に影響の出ない財政の見直しを示して、早期に決着をつけるよう要望してきた。6月に白井市長が示した再開予算とともに示された設計案は、検討を中断していたものであった。結果、コスト削減を懸念する公明党を始めとする4会派による修正案が可決され、8月末までコストダウンに関する検証が実施された。市長も意味のある検証であったと発言をされていたとおりだが、9月に報告された結果では残念ながら最も効果が期待されていた案(総耐震化及び地下駐車場廃止)についても十分な財政効果が得られないことがわかった。それらの結果を受け止め、我が会派は「現設計を基に事業を速やかに再開すべき」と判断するに至った。10月から始まる市民説明会においては、財政見直しを含め市民に丁寧に説明を行い、今後事業が滞ることがないように強く要望する。

緑・つながる小金井

現設計での大幅コストダウンは難しいと判断し、検証に反対したが、13人の議員はこれを必要とした。8月末に検証結果が出て、大幅なコストダウンは難しいことが数字で示された。今の小金井市が庁舎建設を進めるために、数値化する作業は必要な手続であった。

子どもの権利を守る会

検証の結果、現設計を前提にした場合、大幅なコストダウンは不可能であることが判明した。資材高騰の中、建築コストは異様に膨れ上がっており、大幅なコストダウンを可能にするための抜本的な設計の見直しが急務である。私どもは、①執務面積は減らさず、地下駐車場等をやめることで床面積を2000㎡削減し、建築費及びライフサイクルコストを大幅に削減する、②現設計では840㎡しかない広場の面積を3000㎡にまで広げる、③現設計は庁舎部分と福祉会館部分の耐震構造が異なるが、これを同一なものとしシンプルな構造とする、④年間40日程度しか議会利用がない議場スペースは、市民利用などの多目的利用がしやすいよう、イス、机、設備等を可動式にするなどを見直しのポイントとして提案している。

なお、問題の多い現設計のまま進めるのか、見直すのかについては、費用負担者である市民の意向を丁寧に確認する必要がある。現在の庁舎建設予定地に建てるか、駅前建てるかに関しては、市民1万人意向調査が実施され、大差で駅前は否定された経緯がある。市民参加条例を踏まえ、意向調査を実施すべきである。

小金井をおもしろくする会

現設計は、市民参加や議会の議決という民主的プロセスを経てきた。想定している建築単価も他市と比較して妥当だ。新庁舎及び新福祉会館建設が進むことにより、跡地活用を含むまちづくりや、今後の市民福祉の増進に大いに寄与する。後戻りは許されない。

参政党小金井

「抜本的見直しを含めた協議」による検証の結果、大きく減額できる設計変更案はないとの結論により、市長はほぼ現設計で進める結論を出した。元々増額となる変更項目を含んでおり、議会がコストダウンを求めないのであれば、検証の必要性はなかったと言える。

街の仲間たち

今定例会で新庁舎等建設実施設計委託について年度をまたぐための手続(債務負担行為)を設定する補正予算が賛成多数で可決されたことで、長年の課題であった新庁舎建設がようやく前に進む。山積する課題をひとつずつ解決していくための大きな一歩である。



横断幕を作りました

市民のみなさんに市議会をより身近に感じていただくための広報改革の一貫として、令和5年第3回市議会定例会から第二庁舎北駐車場の南側フェンスに張り出しました。今後、市議会定例会の開会中に張り出していきます。

原稿は議員が作成しています

次の定例会は令和5年11月30日(木)開会予定です。